

## Take the Guns Away 銃の除去 治安と選挙に関するアフガニスタンの声

### 概要

アフガニスタン人の大多数の声は、カブールや、ワシントンや、ニューヨークや、ブリュッセルにおける政治権力の中心に単に聞こえていないか、あるいは耳を傾けられていない。必然的に、(国内においても、世界各国においても)アフガニスタンに関する多くの政策議論は大局に焦点を当てている。

『*Take the Guns Away* (武器を取り上げよう)』は、アフガニスタンの人々の統計的な代表であるというわけではないが、農民・教師・主婦・店主を含む一部のアフガニスタン人の見解を浮き彫りにしている。それらの人々の見解は(他と同様に)アフガニスタンが直面する多くの決定に影響を与えるはずである。

これは人権調査提言協会によって行われた 2 番目に大規模なアフガニスタン人の意見調査である。私達の第一報告書『*Speaking Out* (意見を述べよう)』の重要な発見は、多くのアフガニスタン人は彼等の治安改善のためになされる武装解除が最も重要な事だと信じているということであった。アフガニスタン人はまた、国民選挙が国家に好ましい変化をもたらすであろうという非常に高い期待も持っていた。私達のスタート地点としてのこれらの結論を踏まえ、アフガニスタン人の日常生活に対する銃の影響と、銃の影響が選挙に及ぼすと人々が考えている効果を調査するために、私達は 700 以上の調査と 6 州における綿密なインタビューを実行した。私達はまた、アフガニスタン人は選挙が何をもちたすことを望んでいるかということも見出したかった。彼等はこれが長期的な平和と安定のための基礎を築く、国家の近代史の中で画期的な出来事になると信じているであろうか？それとも、アフガニスタン人は彼等の指導者や国際社会にまたしても期待を裏切られると思っているのであろうか？

銃とそれを扱う人々は、アフガニスタン社会の骨組みを弱体化させ続け、そして法の支配の発展を妨害し続けている。多くのアフガニスタン人は広範囲に及んだ紛争の停止によって治安が改善されたと言っているけれども、軍閥の長・司令官・民兵<sup>1</sup>による不正使用の報告がいまだにある。軍隊が解体されるまで、またアフガニスタン民兵軍 (AMF)<sup>2</sup>が非軍閥化されるまで、人々は脅え続け、走り出したばかりの国家の政治制度は台無しになるだろう。このことは武装解除・動員解除・および社会復帰 (DDR: Disarmament, Demobilization and Reintegration) プロセスが失速していることによって実証されている。

#### <アフガニスタンにおける調査地>

ヘラート:	100 調査	カブール:	200 調査
マザリシャリフ:	100 調査	ジャララバード:	100 調査
ファイザバード:	100 調査	カンダハール:	100 調査

<sup>1</sup> これらの用語は同義的に使われており、これら個人および集団が持っている(特に銃の使用を通しての)政治的権力と影響力とを反映している。

<sup>2</sup> 国際危機グループ「アフガニスタンにおける武装解除と社会復帰」『ICGアジアレポート』第 65 号、2003 年 9 月 30 日。

The Human Rights Research and Advocacy Consortium

この邦訳は HRRAC の許可を得て行われました。この報告書の完全版は [www.afghanadvocacy.org](http://www.afghanadvocacy.org) に、邦訳版は [www.jca.apc.org/~jann/JANN.html](http://www.jca.apc.org/~jann/JANN.html) にあります。杉井弥生が邦訳を、多田透とクリスチャン・デニスが編集を担当しました。翻訳に関するコメントは [jann@ngo-jvc.net](mailto:jann@ngo-jvc.net) までお願いします。

This Japanese translation was done with the permission of HRRAC. A copy of the full report can be found at [www.afghanadvocacy.org](http://www.afghanadvocacy.org) and a copy of the Japanese translation can be obtained at [www.jca.apc.org/~jann/JANN.html](http://www.jca.apc.org/~jann/JANN.html) The translator for this paper was Ms. Yayoi Sugii 杉井弥生 and it was edited by Tohru Tada and Christian Denny any comments about the translation should be sent to [jann@ngo-jvc.net](mailto:jann@ngo-jvc.net)

## 要約

アフガニスタン人はあらゆる種類の屈辱に晒され続け、また銃を持った人々から虐待を受け続けている。法の支配は国内全土に事実上存在しておらず、その結果として、無法の文化が支配している。私達がインタビューした多くのアフガニスタン人は現在の治安状況について 1 年前よりも大きな信頼を有しているけれども、彼等はまたうんざりする程たくさんの彼等に対してなされた(主に司令官やその部下による)犯罪を列挙している。政治に対する信頼と信用は低い。アフガニスタン人は中央政府は弱いと言い、政府がよりはっきりと自己主張するよう必死に訴えている。調査した人々の大部分は武装者の手中にある武器が 1 年前よりも減少したと考えているけれども、私達が話をした 88% の人々は政府が司令官の権力を減少させるための役割を果たすことを求めている。ほぼ 3 分の 2 の人々は武装解除が治安改善にとって最も重要な方法であると信じている。

アフガニスタン人はもうすぐ行われる選挙に参加したいと切望している。国の一部の地域では、多くの人々が選挙は自由で公正であると期待している。調査対象のアフガニスタン人のうち 75% は自由に投票できると信じている。しかし南部では多くの人々が、投票結果は暴力によって台無しにされるであろうと懸念している。他の場所では、司令官が彼等の支配地域における選挙を妨害することを、自らの支配力を強化するために利用するであろうと見る人もいる。調査対象のアフガニスタン人は、来る選挙に激しく熱狂しているけれども、そこには非常に低いレベルの政治認識がある。その上、投票結果がほぼ一夜にして急進的な変化をもたらすと期待するほど、彼らの望みは大きい。

### アフガニスタン人が望んでいるもの

アフガニスタン人は彼等の生活を改善させ、司令官の影響を弱めることができる活動について強い意見を持っている。インタビューから取り出したこれらの引用は、アフガニスタン人の中の一般的な見解のうちの一部を代表している。

#### 加速された効果的な武装解除

「私達は武装解除のために声を上げている。なぜ実行されていないのか？」

#### よりはっきりと自己主張をする中央政府

「中央政府はこれが危機であると気付かなければならない。彼等のみが役割を果たせるのである。彼等は司令官の権力基盤を妨げることができる。彼等は武装者を立ち去らせるべきである。」

#### 法の支配を可能とし、そして強化する

「私は警察と法廷をあまり信頼していない。なぜならば彼等は皆、賄賂を欲しがっているからである。これは正義ではない。」

#### 国家および国際治安部隊の駐留を増やす

「国際部隊は平和を維持している・・・アフガニスタン国軍 (ANA : Afghan National Army) は役立っているが、国軍と同様に諸外国の部隊もいなければならない。」

#### 自由で公正な選挙

「他者に圧力をかける人々が放置されないように、選挙のための正しい状態が作られなければならない。」

The Human Rights Research and Advocacy Consortium

この邦訳は HRRAC の許可を得て行われました。この報告書の完全版は [www.afghanadvocacy.org](http://www.afghanadvocacy.org) に、邦訳版は [www.jca.apc.org/~jann/JANN.html](http://www.jca.apc.org/~jann/JANN.html) にあります。杉井弥生が邦訳を、多田透とクリスチャン・デニスが編集を担当しました。翻訳に関するコメントは [jann@ngo-jvc.net](mailto:jann@ngo-jvc.net) までお願いします。

This Japanese translation was done with the permission of HRRAC. A copy of the full report can be found at [www.afghanadvocacy.org](http://www.afghanadvocacy.org) and a copy of the Japanese translation can be obtained at [www.jca.apc.org/~jann/JANN.html](http://www.jca.apc.org/~jann/JANN.html) The translator for this paper was Ms. Yayoi Sugii 杉井弥生 and it was edited by Tohru Tada and Christian Denny any comments about the translation should be sent to [jann@ngo-jvc.net](mailto:jann@ngo-jvc.net)

## 市民教育を増やす

「大多数の人々は選挙がどんなものであるかということさえ知らない。」

### 「これは私達の日常生活の脅威である」

アフガニスタンの大半の地域における戦闘は終了したかもしれないが、武装者の行動は未だにアフガニスタン人の生活局面の多くを支配している。司令官は国の広範な地域で事実上の支配者である：彼等の一部はアフガニスタンの最も大きな権力と富の保持者であり、他の者は村の暴徒である。どちらにしても、脅威と暴力を後ろ盾にした彼等の権力乱用はアフガニスタンの生活に壊滅的な影響を持っている。

#### 1. 年前と比べて、あなたの州の治安状況を説明してくれますか？

##### 「改善した」と答えた人

ファイザバード：	91%
マザリシャリフ：	87%
ヘラート：	81%
カブール：	80%
ジャララバード：	73%
カンダハール：	35%

私達のインタビューの過程で、アフガニスタン人は人権侵害を繰り返し申し立てていた。これは権力乱用が継続していることを意味する。あるファイザバード居住者は気紛れな殺害と強姦について述べている。ジャララバードのある男は司令官によって運営されている私立拘置所について用心深く話している：「人々がどこに消えたか誰も知らない」。

ジャララバードの店主は地元の武装者による酷い税の徴収について話していた。「私が月に 2000 アフガニ（40 米ドル）稼いでも稼がなくても、私はその男に払う。もし私がそれを払わなかったら、彼等は私の店を破壊するだろう」。マザリシャリフの運転手は銃を突きつけられて報酬もなしに遠くの村に司令官を乗せて行くよう強制されたと語っている。

ジャララバードからヘラート、カンダハールからファイザバード、マザリシャリフからカブールまでのアフガニスタン人によって語られた最も多い憤慨の 1 つは、武装者あるいはその支持者による土地や家屋の不法占拠である。

私達が訪れた全ての場所における踏み込んだインタビューの中では、犯罪事件が中心的な問題として浮上している。それにもかかわらず、私達が調査したアフガニスタン人の 3 分の 2 は今も彼等の地域では 1 年前よりも犯罪が減っていると感じている。けれどもそこには強い地域差がある：カンダハールで質問した人々の 55% は 2003 年よりも現在の方がより多くの犯罪があると言っている。

またアフガニスタン人は多くの犯罪を詳細に語り、ほとんど必ずこれらの殺人、強姦、誘拐、強奪の大部分が司令官とその部下のせいであると考えている。

不正が広範囲に見られると報告される一方で、アフガニスタン人は全般的な治安状況についてはかなり前向きである。25 年間近く戦争しか知らなかった多くの人々にとって、治安は単に「戦闘の終結」

The Human Rights Research and Advocacy Consortium

この邦訳は HRRAC の許可を得て行われました。この報告書の完全版は [www.afghanadvocacy.org](http://www.afghanadvocacy.org) に、邦訳版は [www.jca.apc.org/~jann/JANN.html](http://www.jca.apc.org/~jann/JANN.html) にあります。杉井弥生が邦訳を、多田透とクリスチャン・デニスが編集を担当しました。翻訳に関するコメントは [jann@ngo-jvc.net](mailto:jann@ngo-jvc.net) までお願いします。

This Japanese translation was done with the permission of HRRAC. A copy of the full report can be found at [www.afghanadvocacy.org](http://www.afghanadvocacy.org) and a copy of the Japanese translation can be obtained at [www.jca.apc.org/~jann/JANN.html](http://www.jca.apc.org/~jann/JANN.html) The translator for this paper was Ms. Yayoi Sugii 杉井弥生 and it was edited by Tohru Tada and Christian Denny any comments about the translation should be sent to [jann@ngo-jvc.net](mailto:jann@ngo-jvc.net)

として定義されている。これは彼等の地域における治安がここ数年で回復していると信じている人々の76%を占めるであろう。<sup>4</sup>このような楽観論は特に北部と西部で記録されている。一方、南部での回答はより一層悲観的であった。カンダハールでは質問した人のうちのたったの35%しか治安が改善していると感じておらず、45%は悪化していると言っている。

けれども、アフガニスタンの人々は地元の権力保持者の手による権力乱用を甘受していない。それどころか、生活を改善させ、司令官の影響を減らすための活動について彼等は強い意見を持っている。本報告書の至る所に、私達はこれらの意見を提示し、各セクションを「アフガニスタン人が望んでいるもの」で締め括っている。アフガニスタンが民主的に選挙した最初の政府を準備したとき、政策立案者は十分な根拠に基づいたアフガニスタン国民の関心事に注意を払わなければならない。

## 治安における女性

アフガニスタン全土にわたって、女性は治安に対するさらなる脅威の懸念を打ち明けている。

「ここでは女性が悪条件に置かれている。母親達は恐れている。彼女達は娘達のことを心配している武装した男は少女達に何かするであろう」と。」

女性・ファイザバード

「ここでは少女達は自由に出歩けない。状況が悪化すれば、私の父は私達が学校に行くべきではないと言う。ここでは私達は安全であると感じていない。」

若い女性・カブール

「家の中には武器があっても、彼等はその家の女性を村に行かせたり、選挙登録をさせたりしないで、と人々は言っている。DDR（武装解除・動員解除・社会復帰）がなければ、人々（特に女性）は投票所に行くことに自由を感じないであろう。」

女性・ファイザバード

## 子供の誘拐についての脅威

我々が訪れた全ての地域において、治安に関する会話はしばしば子供の誘拐についての脅威に転じた。この脅威は人々を恐怖に陥れている。

「神の次に最も巨大な権力を持つのは子供を誘拐する人々である。」

女性・カブール

「武器を手にした人々が子供を連れて行っても、誰も何もできない。」

女性・マザリシャリフ

<sup>4</sup> これらの数字は自らに課した制限によって歪められていると思われる。我々はアフガニスタン人と国際スタッフの両者にとって安全であると考えた地域にのみ赴いた。

The Human Rights Research and Advocacy Consortium

この邦訳は HRRAC の許可を得て行われました。この報告書の完全版は [www.afghanadvocacy.org](http://www.afghanadvocacy.org) に、邦訳版は [www.jca.apc.org/~jann/JANN.html](http://www.jca.apc.org/~jann/JANN.html) にあります。杉井弥生が邦訳を、多田透とクリスチャン・デニスが編集を担当しました。翻訳に関するコメントは [jann@ngo-jvc.net](mailto:jann@ngo-jvc.net) までお願いします。

This Japanese translation was done with the permission of HRRAC. A copy of the full report can be found at [www.afghanadvocacy.org](http://www.afghanadvocacy.org) and a copy of the Japanese translation can be obtained at [www.jca.apc.org/~jann/JANN.html](http://www.jca.apc.org/~jann/JANN.html) The translator for this paper was Ms. Yayoi Sugii 杉井弥生 and it was edited by Tohru Tada and Christian Denny any comments about the translation should be sent to [jann@ngo-jvc.net](mailto:jann@ngo-jvc.net)

「私達は毎日心配させられている。なぜならば、私達の子供は学校に行っている。青少年が誘拐されており、私達は自分の子供が誘拐されるのではないかと心配である。」

女性・ジャララバード

The Human Rights Research and Advocacy Consortium

この邦訳は HRRAC の許可を得て行われました。この報告書の完全版は [www.afghanadvocacy.org](http://www.afghanadvocacy.org) に、邦訳版は [www.jca.apc.org/~jann/JANN.html](http://www.jca.apc.org/~jann/JANN.html) にあります。杉井弥生が邦訳を、多田透とクリスチャン・デニスが編集を担当しました。翻訳に関するコメントは [jann@ngo-jvc.net](mailto:jann@ngo-jvc.net) までお願いします。

This Japanese translation was done with the permission of HRRAC. A copy of the full report can be found at [www.afghanadvocacy.org](http://www.afghanadvocacy.org) and a copy of the Japanese translation can be obtained at [www.jca.apc.org/~jann/JANN.html](http://www.jca.apc.org/~jann/JANN.html) The translator for this paper was Ms. Yayoi Sugii 杉井弥生 and it was edited by Tohru Tada and Christian Denny any comments about the translation should be sent to [jann@ngo-jvc.net](mailto:jann@ngo-jvc.net)

## コンソーシアムについて

人権調査擁護コンソーシアムは人道的救済、再建、人権および女性の権利、平和促進、調査および擁護の活動を行う 12 のアフガンおよび国際 NGO から成るグループである。継続して積極的に人権の調査および擁護に従事するために 2003 年初めに設立された。

このプロジェクトはアフガニスタンおよびその他の紛争と不安定の中から立ち上がる国々の両方にとって独特の活動である。その目的、方法、構成員、成果物に特徴がある。

・その目的は進行中の主要な調査、訓練、全体的な擁護を通じて多数のグループについて人権を組織的に推進することである。

・方法として普通のアフガン人の声を捕捉することに努め、持続的に多面的な政策変更を促進する。

・コンソーシアムの構成員は 6 つのアフガンと 6 つの国際機関である。これらの構成員は平等にこのプロジェクトの資金を出し合い、また現在アフガニスタンで活動している最も経験があり尊敬されている機関も含まれている。コンソーシアムの構成員の広範囲なプログラムの経験によって他では真似ができないような地域社会への接近が可能である。

・成果物はアフガニスタンおよびその他の国において政策変更に影響を与えるように考案された一連の革新的な資料である。我々の発言だけでなく、どのように表現するかにも重点を置き、写真、映画および何百人というアフガン人の視点の生きたデータベースにアクセスすることができる。これらの資料は多様な知的および視覚的に説得力のある方法で捕捉され、普通のアフガン人の現状の人権に関わる問題の討論に影響を与える。

United States Institute for Peace (USIP) (米国平和研究所) および各コンソーシアム構成員がこの調査に共同で出資した。

### コンソーシアムの構成員

アフガニスタンの組織

- \* Afghan Development Association (アフガニスタン開発協会)
- \* Afghan Independent Human Rights Commission (アフガニスタン独立人権委員会)
- \* Agency for Rehabilitation and Energy conservation in Afghanistan (アフガニスタン復興およびエネルギー管理機構)
- \* Afghanistan Research and Evaluation Unit(advisory organization) (アフガニスタン調査審査機構、コンサルタント)
- \* Coordination of Humanitarian Assistance (人道支援調整機構)
- \* Cooperation for Peace and Unity (平和統一協力機構)

国際組織

- \* CARE International (ケア・インターナショナル)
- \* Mercy Corps (マーシー・コープス)
- \* Ockenden International (オッケンデン・インターナショナル)
- \* Oxfam International (オックスハム・インターナショナル)
- \* Rights and Democracy (ライツ・アンド・デモクラシー)
- \* Save the Children Federation, Inc (児童救済連盟)

The Human Rights Research and Advocacy Consortium

この邦訳は HRRAC の許可を得て行われました。この報告書の完全版は [www.afghanadvocacy.org](http://www.afghanadvocacy.org) に、邦訳版は [www.jca.apc.org/~jann/JANN.html](http://www.jca.apc.org/~jann/JANN.html) にあります。杉井弥生が邦訳を、多田透とクリスチャン・デニスが編集を担当しました。翻訳に関するコメントは [jann@ngo-jvc.net](mailto:jann@ngo-jvc.net) までお願いします。

This Japanese translation was done with the permission of HRRAC. A copy of the full report can be found at [www.afghanadvocacy.org](http://www.afghanadvocacy.org) and a copy of the Japanese translation can be obtained at [www.jca.apc.org/~jann/JANN.html](http://www.jca.apc.org/~jann/JANN.html) The translator for this paper was Ms. Yayoi Sugii 杉井弥生 and it was edited by Tohru Tada and Christian Denny any comments about the translation should be sent to [jann@ngo-jvc.net](mailto:jann@ngo-jvc.net)

## コンソーシアム構成員

Afghan Development Association(ADA) (アフガニスタン開発協会)は1990年に設立された。その使命はアフガニスタンから貧困を撲滅することである。ADAは亡命者の帰国、国内の難民、貧困家庭、女性、失業者、教育を受けなかった人、地域社会の組織を支援している。

Afghan Independent Human Rights Commission(AIHRC) (アフガニスタン独立人権委員会)はボン合意の条項に基づいており、Mr. Karzai (カルザイ、アフガン暫定行政府議長)の布告により2002年6月に設立された。AIHRCはアフガニスタンにおける人権の状況を監視し、人権の保護および促進のため適切な手段を取る。

Agency for Rehabilitation and Energy conservation in Afghanistan(AREA) (アフガニスタン復興およびエネルギー管理機構)は1994年に設立されたアフガンの非政府組織で、現在地域社会開発、代替技術/環境保護、採鉱、職業/能力訓練、建設の分野で活動している。

Afghanistan Research and Evaluation Unit(advisory organization)(AREU) (アフガニスタン調査審査機構)はアフガニスタンにおける政策とプログラムの効果を増進することを目的として政策を報告し、実行を改善するための質の高い、行動志向の調査と実施を行う独立研究機関である。

CAREは11の組織の連盟で、世界中の60カ国以上で活動している(アフガニスタンでは1960年から活動)。CAREは貧困が克服され、尊厳と安全の中で暮らせるような、希望、寛容、社会正義の世界を追求する。CAREは貧困を撲滅することに献身する世界的な運動の中で地球規模の力であり、選択できるパートナーでありたいと努力している。

Coordination of Humanitarian Assistance(CHA) (人道支援調整機構)はアフガニスタンのNGOである。その目的は地域社会の復興、再建、維持可能な社会的および経済的進歩によるアフガン社会の発展を支援することである。

Cooperation for Peace and Unity(CPAU) (平和統一協力機構)はアフガニスタンのNGOで、アフガニスタンで持続可能な平和を実現するために社会の平和構築および人権促進の領域で活動している。

Mercy Corps (マーシーコープス)は住民が安全、生産的かつ公正な地域社会を作るのを援助することによって貧困と抑圧を軽減するための非営利組織である。世界中で25を超える国々で500万人が従事しており、アフガニスタンでは1986年以降活動している。

Ockenden International (オッケンデン インターナショナル)は地域社会および移住による被害を受けやすい人々に協力する活動を行っている。彼ら自身が自分の問題を解決するように支援することによって、もっと自信に満ちた、強い、自立できる地域社会を建設ことを目指している。

Oxfam International(オックスハム インターナショナル)は14の組織の連盟で、その道徳的、人的、財政的資源を世界の経済と社会の正義を共同で促進するために投資している。

Rights and Democracy (The International Centre for Human Rights and Democratic Development) (国際人権および民主主義開発国際センター)は国際的な任務を行っているカナダの団体である。国際人権法に定められた民主主義と人権を促進、奨励、防護するために世界中の市民社会および政府と協力して活動している。

The Human Rights Research and Advocacy Consortium

この邦訳はHRRACの許可を得て行われました。この報告書の完全版は[www.afghanadvocacy.org](http://www.afghanadvocacy.org)に、邦訳版は[www.jca.apc.org/~jann/JANN.html](http://www.jca.apc.org/~jann/JANN.html)にあります。杉井弥生が邦訳を、多田透とクリスチャン・デニスが編集を担当しました。翻訳に関するコメントは[jann@ngo-jvc.net](mailto:jann@ngo-jvc.net)までお願いします。

This Japanese translation was done with the permission of HRRAC. A copy of the full report can be found at [www.afghanadvocacy.org](http://www.afghanadvocacy.org) and a copy of the Japanese translation can be obtained at [www.jca.apc.org/~jann/JANN.html](http://www.jca.apc.org/~jann/JANN.html) The translator for this paper was Ms. Yayoi Sugii 杉井弥生 and it was edited by Tohru Tada and Christian Denny any comments about the translation should be sent to [jann@ngo-jvc.net](mailto:jann@ngo-jvc.net)

Save the Children Federation, Inc(AC/USA) ( 児童救済連盟 ) は有数の国際非営利児童救済および開発組織で、米国を含む 40 以上の国で活動している。児童の生活に必要な前向きで持続可能な変化を作り出すことを使命としている。

( 以上 )

The Human Rights Research and Advocacy Consortium

この邦訳は HRRAC の許可を得て行われました。この報告書の完全版は [www.afghanadvocacy.org](http://www.afghanadvocacy.org) に、邦訳版は [www.jca.apc.org/~jann/JANN.html](http://www.jca.apc.org/~jann/JANN.html) にあります。杉井弥生が邦訳を、多田透とクリスチャン・デニスが編集を担当しました。翻訳に関するコメントは [jann@ngo-jvc.net](mailto:jann@ngo-jvc.net) までお願いします。

This Japanese translation was done with the permission of HRRAC. A copy of the full report can be found at [www.afghanadvocacy.org](http://www.afghanadvocacy.org) and a copy of the Japanese translation can be obtained at [www.jca.apc.org/~jann/JANN.html](http://www.jca.apc.org/~jann/JANN.html) The translator for this paper was Ms. Yayoi Sugii 杉井弥生 and it was edited by Tohru Tada and Christian Denny any comments about the translation should be sent to [jann@ngo-jvc.net](mailto:jann@ngo-jvc.net)